

2040年 産業の将来構想 企業が価値づくり産業へ進化し、AI・ロボット等の未来技術を活用できる人材育成の先進地を形成する(福井県長期ビジョン)

テーマ(目標)

地域の課題と地元企業の価値を理解し、
持続可能な次世代の地域産業を担う人材の育成

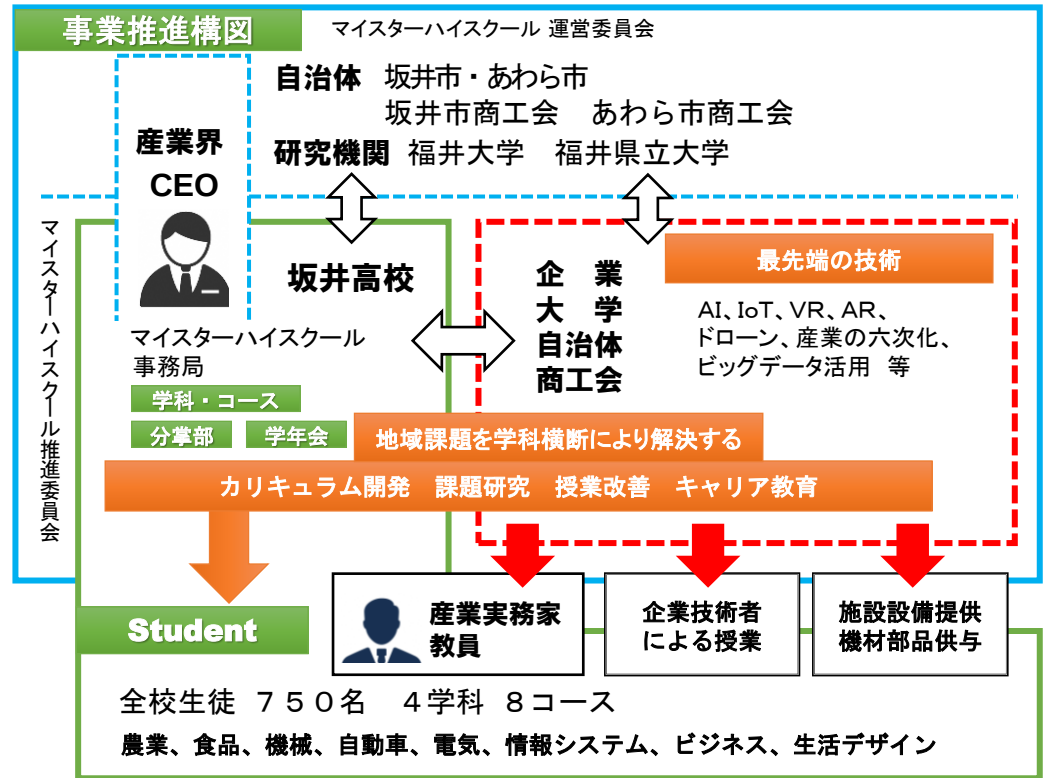
◇育てたい生徒像

◆自己肯定感を持ち、主体的に生きることができる人材

◆DX等の先端技術に触れ、それを用いて社会寄与に貢献できる人材

◆**地域産業人と協働し、地域の産業の価値と課題を認識でき、持続可能でグローバルな視点を持って社会に貢献できる人材**

◇実施体制



産学官との協働(コンソーシアム)を見据えた新しい学びの創造

学科横断型DX研究による次世代産業人育成体制の構築

坂井高等学校 次世代地域産業人材育成刷新事業

生徒活動概念図

右の大木は、初年度から毎年深化している。
持続可能な総合産業高校の在り方として、
根から幹そして研究を花開かせる。

葉の部分

幹の部分

根の部分

- 各コースの専門的企画研究
- コース横断型研究(葉の連結)

- 全校生徒が取り組む研修
- 課題研究に向けて産業全般について知り、共感し、考える

- 8コースの統一した「学びの見える化」を実現
- 広報、評価部門は事業の礎

既存の教育に、当たり前かつ連携のグローバル視点を加え、全員で成長する

その思い

- 地域に愛され、貢献できる高校を継承
- 生徒の well-being への寄与



坂井高校コンソーシアム（令和6年度発足）

生徒と産学官の協働で築く社会との連携・連続

坂井高校コンソーシアム体制

職業教育を産学官が担い、探究心を
持った総合産業人の育成をめざす

<会員> 賛同企業 自治体
研究・教育機関
学校(教員・生徒・PTA)

<活動内容>

- ・「ふくい産業」の授業を学校と企業で創る
- ・企業への訪問研修
- ・企業からの講師派遣による出前授業
- ・企業と協働での課題研究の取り組み
- ・企業からの課題提起(実社会への貢献)
- ・生徒から企業への問題提起
- ・新たなカリキュラムの開発

<目指すところ>

福井の産業に関心
をもち、探究心の
旺盛な生徒の育成

- ・職業人としての資質の向上
- ・地元企業への愛着の醸成
- ・協働による地域への貢献
⇒生徒も企業も関係機関も
ともにWell-beingを
達成

学科横断型DX研究による次世代産業人育成体制の構築

坂井高等学校次世代地域産業人材育成刷新事業

「学びに向かう指標」坂井高校スタンダード

「学びに向かう指標」坂井高校スタンダード～7つの矜持～

	自主(人間力向上のために)				協働(社会の一員となるために)			創造(豊かに生きるために)	
		学ぶとする力	貢献する力	礼節の力		助け合う力	ともにつくる力	基礎学力	必要な技術・技能
		授業	清掃	挨拶		グループ活動	特活・行事	GTZ	資格・検定
A	自主的にできている	その日に学習することをあらかじめ知り、考えながら授業に参加することができる。	自分で考えて掃除を進められ、担当箇所を笑うことができる。	誰に対しても、自分の方から適切な言葉で挨拶をすることができる。	周囲のことも意識してできている	どんなグループにおいても協力し合うことができ、意見を出し合いながら課題の解決を図ろうとする。	主体的に活動に関わり、仲間とともに最後まで役割を果たすことができる。	基礎力診断テストA1～B3以上	コースで標準とされているものに合格し、高いレベルのものにも挑戦することができた。
坂井高校生としての目標を十分達成しており、さらなる広がりが見られる(応用)									
B	与えられたことはできている	授業に参加して、与えられた課題について考えることができる。	決められたことは取り組むことができる。	誰に対しても、適切な言葉で挨拶を返すことができる。	与えられたことはできている	ある程度の人は協力し合うことができ、課題の解決を図ろうとする。	仲間とともに、最後まで役割を果たすことができる。	基礎力診断テストC1+～C3以上	コースで標準とされているものを取得できた。
坂井高校生として卒業までに最低限身に着けたい力が身についている(標準)									
C	やる気はあるができていないこともある	授業に参加して、言われたことだけができる。	教員が見ているときだけは、取り組むことができる。	場面によっては、挨拶をすることができる。	やる気はあるができていないこともある	他者とうまく協力することはできないが、自分の役割は果たすことができる。	その場には参加しており、言われたことだけを実行する。	基礎力診断テストD2～D1+	コースで勧められたものに合格もしたが、不合格の方が多かった。
坂井高校生としての目標をあと少しで達成できそうである(基礎)									
D	やらないことが当たり前になっている	何も取り組まなかったり、私語をしたりして、学びのさまたげになる。	注意されることが多く、やらないことが当たり前になっている。	挨拶をされても、返さない。無視することがある。不適切な言葉を使う。	やらないことが当たり前になっている	話し合いに関心が持てず、協力せずに結論が出るのを待つ。関係のない話をする。	その場にはいないこともあり、活動や作業には参加しない。寝ていたり私語をしたりして時間を潰す。	基礎力診断テストD3～D3+	受験を放棄したり、受験したものに、ほとんど合格することができなかったりした。
坂井高校生としての目標を達成するにはさらなる努力が必要である(要努力)									